

新デバイスでIoT用製品

明光電子 大阪市大発VBに出資

【横浜】明光電子（横浜市港北区、十川正明社長、045・471・2223）は、大阪市立大学発ベンチャーのSIRC（サーク、大阪市中央区）に出資した。出資金額は1億円で出資比率は7・4%。サークはマイコンを使わずに電流や電圧をセンシングし、電力値を瞬時に算出するサークデバイスを開発。明光電子は出資を通じて、企画段階からサークデバイスの応用製品の開発にかかり、顧客ニーズを反映した製品の拡販に力を入れる。

サークデバイスにより、かし産業系やインフラ系への顧客に提案するほか新規開拓を進める。

IoT（モノのインターネット）化するこ
ろにつながる。明光電
子は機械式の丸型アナ
ログメーターの変角角
度をデジタル化して無
線送信する応用製品の
開発や提案を進めてい
る。国内の販売網を生



十川社長は「サークデバイスにより既存のアナログメーターの情

機械式のアナログメーターに後付けでサークデバイスを取り付け、IoT化を進める

報を見える化し、世の中のIoT化を進めたい」と意気込んだ。

明光電子はサークと共同開発する交流（AC）／直流（DC）電力、電流センサーの開発用評価ボードを4月10日から東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「IoT/M2M展」に出展する。